

# 「ありがとう」 掲示板

## 「復旧・復興に全力！新地町」

新地町では昨年の東日本大震災直後より滋賀県、そして北海道開発局より派遣いただいた農業土木技術職員のご協力をいただきながら農地や農業用施設の復旧を進めております。現在は、復旧状況が少しずつ目に見える形となってきており、震災前の緑豊かな新地町の姿に一步一步、近づいていると感じております。

復興に向けての道のりはまだまだ長いですが、職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後も当町への応援をよろしくお願いいたします。

そして、これまで派遣いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

新地町 農林水産課長 吉田 栄喜



《福耕支援隊とともに》(H24.6撮影)

後列 齊藤、森、岡田、福島、菊地、四栗  
前列 八巻、吉田、佐々木さん、脇岡さん、森、木村  
(北海道開発局)



農地の復旧工事も本格的に始まっています。

# 福島県へ来らせ！！

**東北六魂祭** 今年福島市で開催決定！

**相馬野馬追** H24年に完全復活 7月27日～29日開催

**鶴ヶ城** 大河ドラマ「八重の桜」の舞台

**三春滝桜** 見ごろ 4月中旬～下旬

会津 中通り 浜通り

「福興レター」は、全国農村振興技術連盟会員の皆様や台湾農田水利会連合会からいただいた義援金により作成しております。多大なるご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。



ふくしまからはじめよう。

# ふくしまからありがとう 福興レター 第2号

平成25年1月

## 福興レター第2号をお届けします

明けましておめでとうございます。

あと2ヶ月ほどで、東日本大震災の発生から2年が過ぎようとしています。

昨年度に引き続き、本年度も農林水産省と16道県の皆様にご支援を頂いておりますこと、心から感謝を申し上げます。おかげさまで、相双農林事務所が平成23年に査定を受けた870ヶ所、事業費728億円のうち、11月末現在で425ヶ所、208億円を発注することができました。遠くふるさとを離れ、福島県の復旧・復興に取り組んで頂いている皆様方と、職員が減っている中、仕事を分担して職員を派遣して頂いている派遣元の皆様方に、厚く御礼を申し上げます。

地震による被害を受けた農業用施設については順調に復旧が進んでおりますが、津波により被災した農地2,730haは、団体営の原形復旧962haようやく着手したところです。また、災害関連区画整理事業及び復興交付金の農山漁村地域復興基盤総合整備事業を活用した県営の大区画ほ場整備による1,229haの復旧については、3地区147haで着工に向けた土地改良法の手続きを進め、4地区1,082haで早期着工に向け事業計画策定を進めているところで、来年度以降、本格的に農地復旧に取り組むこととなります。

さらに、警戒区域が見直された南相馬市と楢葉町、今後見直される予定の浪江町や富岡町などの避難指示解除準備区域については、平成25年以降に査定を受けることとしています。(南相馬市の海岸保全施設及び地震被害の農業用施設は平成24年に先行して査定を受けました。)

農地・農業用施設は農業生産の基盤であると同時に、農家にとっては生活の基盤でもあります。警戒区域の見直しで避難指示解除準備区域となった地域も含めて、避難生活を送っている農家の方々が1日でも早く被災前の生活を取り戻し、地域の農業・農村が再生するよう、福島県の農業土木技術者の総力を挙げて復旧を進めてまいりますので、来年度以降も変わらぬご支援をお願いいたします。

時節柄、風邪などを引かないよう皆様方のご健康をお祈りしながら、福興レター第2号をお届けいたします。

福島県農村振興技術連盟委員長 櫻田 浩二  
(福島県農林水産部次長 (農村整備担当))



## 復旧進む!! 松川浦湖岸堤防 (相馬市)



●その他の復旧状況等は、福島県農村計画課のホームページに掲載の「農空間」をご覧ください。

## 絆を力に 復旧へ突き進む！

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震からまもなく2年が過ぎようとしています。相双農林事務所では海岸保全施設や排水機場、大規模なため池等を中心に県営事業として農業用施設の復旧を行っております。また農地復旧を伴ったほ場整備事業として7地区で約1,200haを計画しており、うち3地区は採択を受けて工事にに向けた準備を進めております。

業務量の増大にともない職員が不足しており、本年度は県内からの応援はもとより、全国16道県から、これまで延べ77名の農業土木職員の支援派遣をいただいております。中には12ヶ月間の予定で長期間にわたり支援して頂いている方が8名もおり、改めて御礼を申し上げます。

災害復旧はまだ始まったばかりの感があります。また旧警戒区域内の農地被害状況は手つかずの状態です。完全復旧に向けこれからもしっかりと行ってまいりたいと思いますので今後ともご支援よろしくお願いします。

相双農林事務所 農村整備部長 星 良 孝

## 今年も全国から温かい支援

私たちは、派遣された農業土木技術職員の皆さんを『福耕支援隊』と呼んでいます。

昨年度に引き続き今年度も、福島県及び市町に対して、農林水産省及び全国の道県から派遣いただいた福耕支援隊の皆様とともに、農業農村の復旧・復興に懸命に取り組んでおります。

福耕支援隊は、震災後の絶望から立ち上がる福島へ力を、そして、復旧・復興に立ち向かう福島へ勇気を与えています。

相双農林事務所管内の復旧状況 (H24.11 末時点)  
(事業費：百万円)

区分	種別	全体		発注済み		完了		完了予定
		箇所数	事業費	事業費	進捗	事業費	進捗	
県営	海岸保全施設	13	8,279	5,741	69.3%	125	1.5%	H27
	施設(排水機場、ダム・ため池)	42	14,249	8,966	62.9%	928	6.5%	H26
団体営	農地	351	41,861	3,148	7.5%	87	0.2%	H28
	施設(ため池、揚水機等)	454	7,406	1,958	26.4%	340	4.6%	H26
	農業集落排水	10	1,039	1,039	100.0%	220	21.1%	H26

※県営での農地復旧の箇所は、団体営農地復旧に含まれる。



H24年度 福耕支援隊員数

管内	派遣先	人数(名)	派遣元
県中	須賀川市	19	農林水産省(2局) 関東農政局、東海農政局
	相双農林事務所(県)	77	16道県 北海道、青森、秋田、栃木、群馬、埼玉、神奈川、新潟、山梨、長野、滋賀、山口、愛媛、沖縄、大分、沖縄
相双	相馬市	48	農林水産省(3局) 関東農政局、北陸農政局、東海農政局
	南相馬市	83	農林水産省(3局) 北海道開発局、中国四国農政局、九州農政局
	広野町	19	農林水産省(2局) 近畿農政局、沖縄総合事務局
	楳葉町	11	農林水産省(2局) 北陸農政局、近畿農政局
	新地町	27	農林水産省(1局) 北海道開発局
計		284	農林水産省(8局)、16道県

延べ人数：7,772人・日(人数×勤務日数) H24.12末時点

## ふっこう 福耕支援隊員に聞きました《北海道⇒相双農林事務所へ派遣》

Q1. 現地を見ての感想・印象は？

A1. 基礎だけ残された家、家の面影すらない現場を見て震災に対する悲しみと同時に怒りがこみ上げてきました。普段、報道等では知ることのできない状態をみて改めて復興への意識が高まりました。《清水舟平》

Q2. どのような仕事を担当していただきましたか？

A2. 県営の農地、施設(排水機場等)の災害復旧事業、団体営の農地復旧、施設災害の指導、計画変更等の業務を各自が担当しています。《岸田隆志》

Q3. 業務以外の生活では、どのように過ごしましたか？その感想は？

A3. 福島県職員や他県の派遣職員の方達と一緒に福島県内あちこちを巡り、福島自然、人情、旅情をたっぷり味わっています。イワナにソバにラーメンにB級グルメetc...何度でも食べたくなる美味しさでした。《伊賀優》

Q4. 2回目の派遣ということですが、どのような感想を抱きましたか？

A4. 今年の1月に続き、2回目の福島県派遣となり、相双農林事務所の皆様には顔と名前を覚えていただき、非常に仕事がやりやすかったです。前回以上に福島に対する思いが強くなりました。《内海博孝》

Q5. 福島県へのメッセージをお願いします。

A5. 震災から間もなく2年が経過しますが復興は始まったばかりだというのがよくわかりました。福島は原発があるためどれだけの時間がかかるかは全く予想がつかませんが、1日も早く復興することを願っています。《森川和幸》



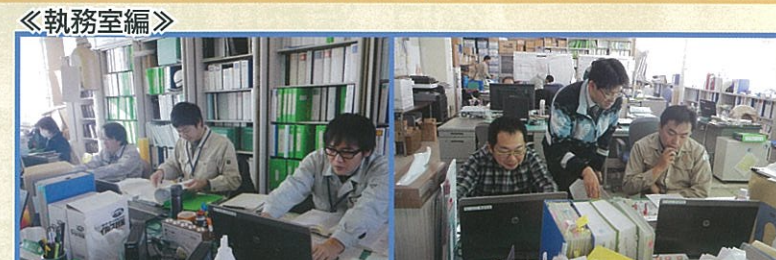
《福耕支援隊 北海道チーム》(H24.11撮影) 左から 伊賀さん、森川さん、清水さん、内海さん、岸田さん



相双農林事務所にて

## ふっこう 福耕支援隊フォトレポート～活躍する隊員たち～

### 《現地調査・監督編》



### 《派遣元の激励・視察編》



その他、多数の派遣元から激励訪問をいただいております。

### 《福島県内での行事編》



### 《エトセトラ》

